

BSM-1175LT BSM-1375LT BSM-1675LT

⚠注意

各ストレーナやフィルターに破損が見つかった場合には、すみやかに交換してください。そのまま使用するとノズル詰まりや、ポンプ・バルブユニットの故障の原因となります。

⚠注意

ラインフィルターのドレンコックは確実に閉じていることを毎回確認してください。ドレンコックから薬液が漏れると薬害の原因となります。

6. 噴霧ポンプのクランクケースにオイルゲージのレベル点までオイルが入っているか確認し、不足している場合は補充してください。

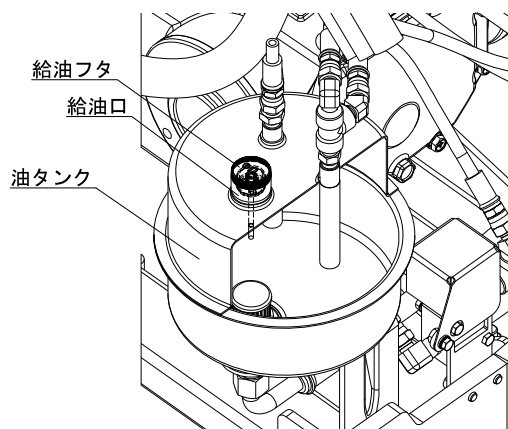
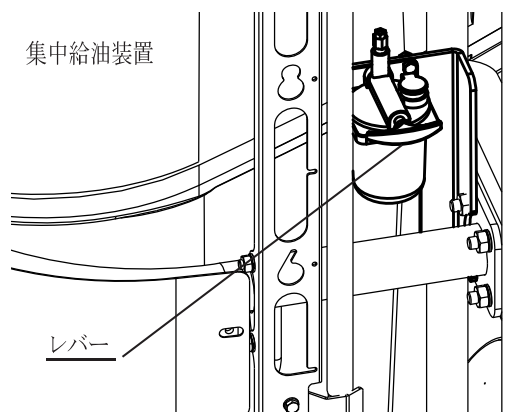
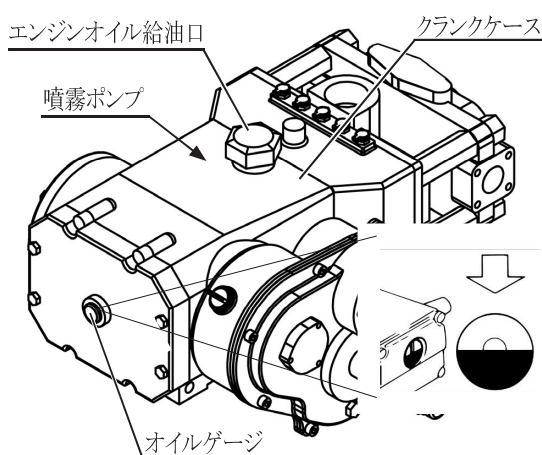
- 標準オイル交換時間は、初回が50時間目、2回目以降が100時間毎です。
- 供給オイルは、エンジンオイル SH級以上SAE10W-30、供給量は約2Lです。

7. 本機の左後部に集中給油装置があります。長期保管後のポンプ運転の際は、レバーを1回引き、シリンダーに注油を行ってください。供給オイルはエンジンオイルSH級以上SAE10W-30です。

- 注油は、100時間毎または年1回のどちらか早い時期に、レバーを1回引き注油を行ってください。

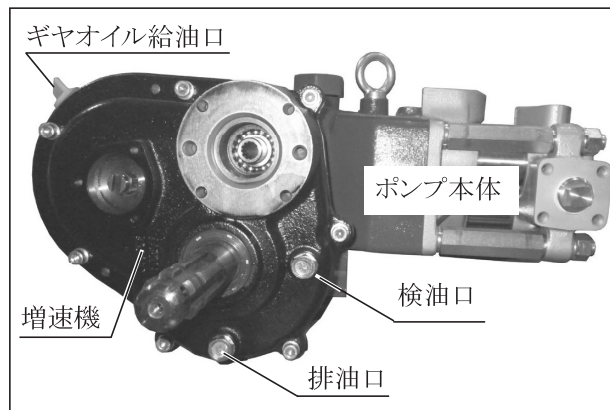
8. 油タンクの給油フタにはレベルゲージが付いているため、油量を確認し不足している場合は補充してください。油量は給油フタを外して給油口に乘せた状態でレベルゲージの棒の先端にオイルがつく位にしてください。また、この油量確認は全ブームを格納した状態で行ってください。

- 供給オイルは、油圧作動油#46、供給量は約3.6Lです。



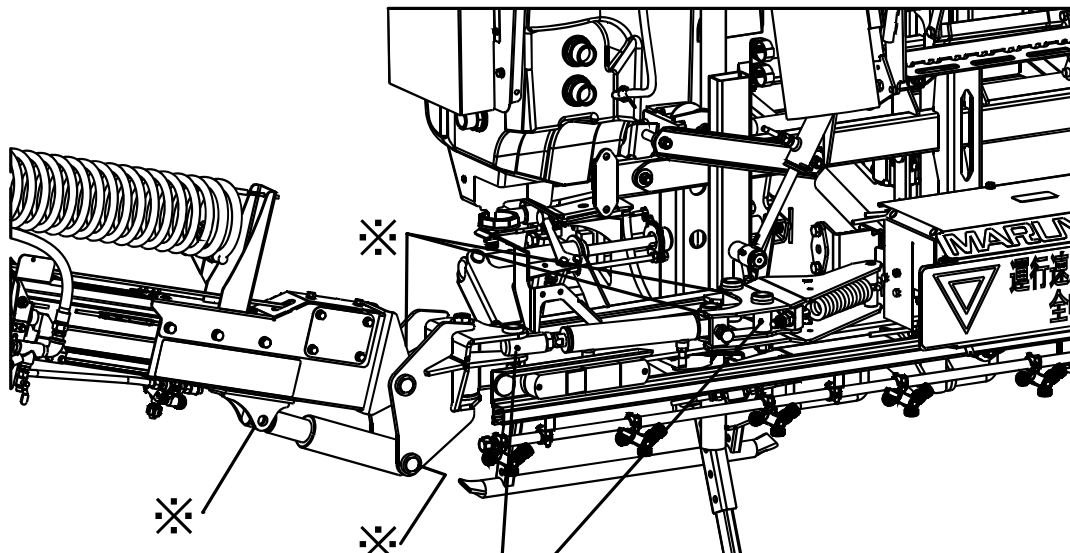
9. 噴霧ポンプの増速機にオイルが規定量入っているか、また油漏れがないか確認してください。

検油口のレベルまでオイルが入っているのが正常です。オイルを交換する場合は、排油口・給油口・検油口を開けて、中のオイルを抜き取った後、排油口を閉じ、オイルジョッキ等で、検油口から溢れるまで給油口よりオイルを入れます。



- オイル交換は初回は50時間目、2回目以降は1シーズン(約100時間)毎に行ってください。
- 供給オイルはギヤオイル#90相当、供給量は約0.6Lです。

10. ブーム関節部分のグリスニップル個所に適宜給脂してください。その他、回転摺動部にも、使用前に注油してください。



その他の給脂箇所については機体に貼付されているステッカーを参照ください。